

龍谷大学世界仏教文化研究センター編『世界仏教文化研究』E-Journal 投稿に関する内規

- 1, E-Journal『世界仏教文化研究』(以下、本誌)は、仏教の歴史・思想・文化ならびに関連領域の論文、訳注、翻訳研究、書評、および龍谷大学世界仏教文化研究センター(以下、本センター)主催の国際シンポジウム、国内シンポジウム、学術講演会、文化講演会、セミナー・ワークショップ、研究会等の情報を掲載する。
- 2, 上記項目の内、論文は、新規に作成したものに加え、研究会やシンポジウムでの報告に基づき、発表者が論文にまとめたものを含む。
- 3, 投稿は、未発表の業績に限る。なお受理された原稿を他の学会誌等に投稿することはできない。
- 4, 日本のみならず世界各国から論文を募集する。本誌は、和文に加え英文論文の投稿を積極的に受け付ける。ただし仏教の歴史・思想・文化に関連する研究であること。また投稿者は、本センターの研究にかかわる国内外の博士号取得者あるいはそれと同等の学力を有する者とする。投稿者は、本学専任教員の推薦及び編集委員の承認を必要とする。
- 5, 主に、以下の研究に関連する原著論文、翻訳研究を公募する。また、世界の仏教研究の動向、書籍や国際シンポジウム、研究者などの紹介記事も受け付ける。
 - ・大蔵経をはじめとした仏教の古典籍や歴史・美術考古資料を中心に検討した研究。
 - ・異文化交流や宗教間対話など学際的なコンテキストの仏教研究。
 - ・社会における仏教の役割や現代的意義の検討、およびその実践にかかわる研究。
 - ・翻訳研究：仏典テキストの校訂や現代語訳を試みる訳註研究。
- 6, 投稿受付期間に関しては、本センターweb サイト(<http://rcwbc.ryukoku.ac.jp>)等で通知する。
- 7, 原稿の作成にあたっては、同じく本センターweb サイト記載の「執筆要領」を参照すること。
- 8, 原稿制限文字数は図および表を含めて、20,000 字(英文 6,000 語)程度とする。要旨は制限枚数に含まない。
- 9, 各投稿論文、訳注には、別途要旨を添付すること。投稿論文等を日本語で書く場合、200～300 語(words)程度の英文要旨を添付すること。
- 10, 投稿論文、訳注、書評等の採否は、編集委員会の責任による厳正な査読を経て決定される。

- 11, 本誌に掲載された論文等の著作権は、本センターに属するものとする。投稿論文等を他所に転載する、また翻訳する場合等、本センターの許諾を得ること。ただし、著者が利用することに関しては、原則無償で許可する。

- 12, 本誌に掲載された論文等は、原則として本センターホームページにおいて、PDF・電子テキストの形で公開される。紙媒体でも小数部発刊を行う。さらに、外部機関の電子アーカイブ化事業にも情報を提供することがある。

以上